

大仙市人事給与システム及び庶務事務システム  
更新業務  
提案書評価基準

令和5年2月

秋田県大仙市

## 提案評価基準

評価項目	評価項目詳細	配点
システム構築全体に対する基本的な考え方及び取り組み	本調達の背景や目的を正しく理解していること。	10
	提案内容の基本的な考え方や取り組みについて具体的に記載されていること。	10
	提案内容が調達目的を達成させられると考えられること。	10
	ライフサイクルコストに関する効率的な取り組みが考えられていること。	10
システムの全体像	システム構築全体の品質保障の取り組みが考えられていること。	10
	システム開発内容や構築範囲が明確に記載していること。	5
	利用年数に応じたデータ規模を想定し提案システムの安定稼働が考慮されていること。	10
	追加要求や法改正に伴う変更対応に関して記載されていること。	10
作業スケジュール	システム構築スケジュールが業務運用を考慮されていること。	10
	システム本稼働後の年間運用スケジュールが記載されていること。	5
	本市職員が実施すべき役割、作業項目について記載があること。	10
	工期短縮の工夫がなされているか。	10
体制	体制図があり役割が明確になっていること。	10
	全体統括責任者とプロジェクト責任者が分離されていること。	10
	プロジェクト責任者が同規模のシステム開発業務経験があること。	10
	本市が整備する必要がある体制と役割について記載があること。	5
プロジェクト管理	プロジェクト管理手法に関して記載があること。	10
	システム構築期間における定例会及び内容の記載があること。	5
	プロジェクト進捗管理手法、工程、ドキュメントの品質等の基準に関して記載があること。	5
	プロジェクトリスク分析がされておりリスク発生時の対処方法が考慮されていること。	10
	検収の考え方について記載があること。	5
成果物	各作業段階の工程に対する成果物が定義されていること。	5
	運用保守の基準となるドキュメント成果物が定義されていること。	5
情報セキュリティ対策	システム開発からシステム稼働後におけるセキュリティ要件、安全性要件について記載があること。	10
	ハードウェア及びソフトウェアについて故障を回避する具体的な方法について記載があること。	10
	ハードウェアまたはソフトウェアの障害により停止した場合に復旧までの時間を短縮する具体的な手法等の記載があること。	10

設計・開発方法、 内容	本システムの設計・開発の開発環境、開発手法等設計・開発の作業方法等および各工程の完了基準について記載があること。	5
	結合テスト、総合テスト、受入テストについてテスト環境、テスト手法、テストデータ準備方法等の記載があること。	5
	本システムへの移行について記載があること。	5
	システム移行、データ移行に必要な設計図書類、作業方法等および各工程の完了基準について記載があること。	5
	システム移行が職員負荷を軽減することについて記載があること。	10
	データ移行は職員負荷が少なく現行ベンダーの協力を得られる提案であること。	10
	既存システムに影響を与えないこと。	10
教育・訓練方法	具体的な研修方法について記載があること。	10
	効率的な研修計画について記載があること。	10
	利用者がいつでも自学できる仕組みが考慮されていること。	10
運用・保守方法	システム安定稼働に向けた運用・保守体制が考慮されていること。	10
	利用者が安心して利用できるための方策が考慮されていること。	10
提案者の実績	秋田県内同規模以上の開発実績があること。	10
	開発実績等で得られた知見が提案に活かされていること。	10
	本提案の体制メンバーが上記実績のシステム開発業務経験者であること。	10
合計		350

### 追加提案評価基準

評価項目	評価項目詳細	配点
追加提案	追加提案内容が調達目的達成に貢献できる内容であり費用も見積内容に含まれている。	50

## 機能要求整理表評価表の採点について

業務機能	最高点
共通	912
人事給与	16596
庶務事務	3147
合計	20655

優先度	得点
A	10
B	6
C	3
D	1

対応状況による掛率	
標準対応	3
カスタマイズ	2
代替案	1
非対応	0

採点	
割合	配点
95%以上 100%以下	450
90%以上 95%未満	350
85%以上 90%未満	250
80%以上 85%未満	150
80%未満	50

各業務の各要求項目には優先度による点数が設定されており、  
「優先度による得点 × 対応状況による掛率」で得点を算出する。  
「最高得点の合計に対する得点の割合」によって採点する。

## 非機能要求整理表評価表の採点について

採点	
90%以上	150
85%以上 90%未満	100
80%以上 85%未満	50
80%未満	0

非機能要求表の採点は、提案書に基づき、非機能要求表の項目内容が網羅されているかを確認しその全体項目の網羅率によって採点する。

## 価格評価の採点について

### オンプレミス

予算限度額に対する割合	配点
90%以上 100%未満	1 0 0
80%以上 90%未満	2 0 0
70%以上 80%未満	3 0 0
60%以上 70%未満	3 5 0
6 0 %未満	4 0 0

### クラウド

予算限度額に対する割合	配点
90%以上 100%未満	1 5 0
80%以上 90%未満	2 5 0
70%以上 80%未満	3 5 0
70%未満	4 0 0

価格評価は予定限度額に対する割合で採点する。なお、予定限度額以内であっても、仕様に即した価格でない場合は失格となる。

## プレゼンテーションの採点について

評価項目	最高点
システム構築全体に対する基本的な考え方及び取り組み	1 0
システムの全体像	1 0
作業スケジュール	1 0
体制	1 0
プロジェクト管理・成果物	1 0
情報セキュリティ対策	1 0
設計・開発方法、内容	1 0
教育・訓練方法	1 0
運用・保守方法	1 0
提案者の実績・追加提案	1 0
計	1 0 0

配点	
非常に優れている	1 0
優れている	8
標準的である	5
一部に課題あり	1
適さない	0